

令和2年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

1 会議について

令和2年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事は、通常の会議を開催せず、書面により審議及び意見交換する書面会議とした。

2 第2回会議の流れ

内容		日程
資料送付	第2回会議資料の送付	3月5日
委員からの提出期限	審議事項など	3月16日
資料送付	第2回会議の議事録確認	3月26日
議事録確定	第2回会議の議事録確定	3月30日

3 出席者

（委員）

吉田委員、藤居委員、垣田委員、田中委員、森委員、松井委員、西脇委員、檜崎委員、大前委員、高梨委員、高橋委員、難波委員、豊島委員、森委員、多田委員

4 議事概要

「浦安市学校給食センター運営委員会規則」第5条第2項の規定により、「書面表決書」の提出(出席)が半数を超えた（回答数15名）ことから、書面会議にて第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事を開いた。

議題については、書面会議として資料に基づき、審議及び委員から提出された意見などに対して回答を行った。

・審議事項

(1) 令和3年度 浦安市学校給食センター事業計画（案）について

・報告事項

(1) 学校給食実施基準の一部改正等について

(2) 令和2年度学校給食食材の放射性物質検査について

(3) 令和2年度学校給食における異物混入発生状況について

(4) 浦安市千鳥学校給食センター第一及び第二調理場長期包括責任委託事業
事業契約の締結について

審議事項については、「書面表決書」の結果、「賛成」が15名であり、半数を超えたことから、可決された。

また、委員から提出された意見などに対する回答は別紙のとおり。

令和2年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議

意見・感想及び回答一覧

・審議事項

- (1) 令和3年度 浦安市学校給食センター事業計画（案）について

・報告事項

- (1) 学校給食実施基準の一部改正等について
- (2) 令和2年度学校給食食材の放射性物質検査について
- (3) 令和2年度学校給食における異物混入発生状況について
- (4) 浦安市千鳥学校給食センター第一及び第二調理場長期包括責任委託事業事業契約の締結について

ご意見・ご感想	回答
<p>《献立について》 旬の食材を取り入れ、季節感のある献立の計画、とても有難く感じています。</p>	<p>ありがとうございます。 今後も、旬の食材を使用した、季節感のある給食を提供していきたいと考えています。</p>
<p>《給食の食べ残し（残渣）について》 食べ残しについては、学校間で差のあるものもあります。食べ残しの少ない学校で、食べ残しを減らす方策等をとっていたら、今後、それを共有していけたらと思います。</p>	<p>児童の自発的な活動として、食べ残しキャンペーンを設け、ポスターなどを作成し、目標を決めて校内全体で取り組みをしている学校があると聞いています。 今後、情報共有ができるよう検討したいと考えます。</p>
<p>日々、安心安全の給食の提供に感謝いたします。 昨今、朝食とらずに登校する子供たちについて、ニュースになる事を目にすると給食の大切さをとても感じます。 栄養バランスのとれた献立を考えられるのはとても大変かと思いますが、子供たちが喜ぶメニューの開発を期待しています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 給食センターでは、試作品を作り、新しいメニュー開発を行っています。 今後も、子供たちに喜んでいただける、楽しみにしていただけるメニューを提供していきたいと考えています。</p>
<p>異物混入発生状況について18件の報告がありました。かなり多いように思います。また、学校に偏りがあるようにも思いますが、ここ数年の状況を教えてくださいたいです。</p>	<p>過去3年間の状況といたしましては、令和元年度17件、平成30年度20件、平成29年度20件となっています。 給食センターといたしましては、今後、異物混入が発生しないように努めてまいります。</p>

市内養護教諭より食物アレルギー対応に関する要望等がありますので、別添資料にてお伝えします。子どもたちの命を守るためにも、ぜひ前向きな検討をお願いします。また、学校訪問の際に、ぜひ学級での食物アレルギー対応の実際を見ていただきたいと思います。

(別添資料)

《食品材料一覧表について》

可能であれば、もう少し早く学校に届けてほしいです。

例えば10月分は9月28日に届きましたが、29日に保護者に配付して、30日には保護者がチェックしたものを学校に返さないと10月の給食に間に合いません。複数除去の場合はチェックにも時間がかかり、また急いでチェックすると漏れにつながる恐れもあります。献立表は9月25日に来ていましたので、せめて同じ日に届くように配慮をお願いします。

《同じアレルゲンを含む献立について》

1日の献立に、同じアレルゲンを含む献立をできるだけ入れないでほしいです。

例えば「卵・乳の入ったパン」がある日に、「乳および小麦が入ったおかず」はやめて、パンのみにしてほしいです。

ある小学校では、1年で1クラスに①「卵」、②「卵・乳」③「卵・小麦・エビ・カニ」のアレルギーの児童3人(3人とも対応食)がいますが、今回の場合、

①の人・・・牛乳・シチュー・魚のパン粉やき・チャカラカ(まめ料理)配食。パン持参。

②の人・・・魚のパン粉やき・チャカラ

材料一覧表の配付については、毎月の献立予定表配付日に合わせて各学校へ届けられるよう準備しています。引き続き、業者による献立予定表の配付日程に留意し、配付の遅れが生じないように早めの対応を徹底します。

献立作成において、できる限り1回の給食で複数の料理に同じ原因食物を使用しないよう努めていますが、全ての料理に対応することは難しいため、献立内容によって原因食物が重なってしまう場合もあります。その際は使用していることが分かるように献立名を工夫します。

食物アレルギー対応で安全性を確保するためには、調理作業が複雑・過剰にならないよう単純化する必要があります。このため、本市では児童の食物アレルギーの実態を踏まえ、除去対応する食品を卵・乳に精選し必要最小限の除去としています。

<p>カ配食。シチューは対応食。パン持参。</p> <p>③の人・・・牛乳・シチュー・チャカラカ配食。ご飯、魚持参。</p> <p>となります。</p> <p>対応食の3人は、教員の机に別に3つお盆を置き、目玉クリップでどれがだれのものかを名前を書いてわかるようにし、はじめに配膳。みんなの配膳が終わったら、対応食の人はそれを入れ、家からごはんや卵のないパンを持って来ている人はそれを置き…というようになり多くの作業を要します。また、教員複数での確認が必要です。できるだけ担任の負担が軽減するような献立の検討をお願いします。</p> <p>また、一日のすべての献立に小麦が入っていることがあり、小麦アレルギーのみにその日は弁当持参になることがあります。ひとつひとつには応えられないとは思いますが、せめて、<u>アレルギー7品目</u>には配慮してほしいです。7品目、どれにもひっかからない献立の日もあるようです。</p> <p>《ナッツ類について》</p> <p>ナッツ類については、可能であれば献立に入れないでいただきたいです。ナッツ類を出す必要があるということであれば、和え物はやめて、せめて小袋にしてほしいです。また、ナッツ類ではアーモンドが多いと思いますが、アーモンドを含む献立(小袋含む)が続かないように配慮をお願いしたいです。</p> <p>栄養を考えるとナッツ類が必要であることは十分理解していますが、他の市町村でナッツ類を一切入れていないところもありますので、他の食材等で代用可能ではないでしょうか。重症のお子さんは、大げ</p>	<p>対応品目数を増やすには、現状では対応は難しく、調理場の施設・設備を新たに整備することや人員を増やすこと等の対応が必要となると考えます。</p> <p>このことから、対応品目を増やすことは無理な対応となり、危険性を伴うため、事故防止の観点から難しいと考えます。</p> <p>学校給食では、色々な食品からバランスよく栄養を摂るために、栄養量の他に食品構成が定められています。家庭の食事では摂りにくい豆類、イモ類、種実類などは多めに設定されているため、給食に大豆、じゃがいも、ナッツ類を度々提供しています。</p> <p>その一方で、種実類(ナッツ類)については、食物アレルギー症状を誘発する原因食物であり、給食で使用する際には注意喚起表示や使用頻度など検討する必要があります。</p> <p>給食センターとしましても、安全性を確</p>
---	--

<p>さではなく、周りにアレルギー食材がある中で、命をかけて食事をしている場合もあります。学校では複数での確認、毎日の給食ノートのやりとりをしている場合もあります。誤食や給食指導の担任への負担を少しでも軽減したいので、ご検討をよろしくお願いいたします。</p>	<p>保するため、今後、ナッツ類を使用した料理の提供を極力減らすよう努めるとともに、できる限り小袋に切り替えるなどの対応を行います。</p>
--	--